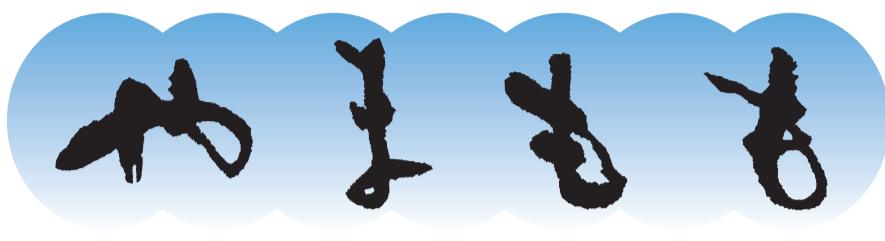


## ゆめクラブ鎌倉 会員広報紙



発行

鎌倉市老人クラブ連合会  
発行人 大久保安夫  
編集人 都筑 健一  
門田 京藏  
山本 照子

〒248-8686  
鎌倉市御成町18-10  
鎌倉市老人クラブ連合会  
(愛称・ゆめクラブ鎌倉)  
☎(0467)61-3930

印刷 (株)博報社 大阪市平野区喜連西4-6-69 ☎(06)6797-0212

## 第58号



## かまくらびとに聞く

(株)かまくら春秋社 代表  
伊藤 玄二郎 氏  
関東学院大学 人間環境学部教授

二〇〇七年から、  
鎌倉でも定年を迎えた団塊の世代の方が第二の人生に踏み出し、地域に戻つてきます。  
私たちゆめクラブ鎌倉は二〇〇七年は会を活性化するためPRの年と捉え、このたび新事業として六月から鎌倉ケーブルテレビと新番組「鎌倉元気のスメ!」を共同制作、放映することになりました。

## 変わらなくちゃ老人クラブ 高齢者パワーの活用



2007年から、みんなで老人クラブのイメージを変えてみませんか?

ゆめクラブ鎌倉オリジナル番組  
**「鎌倉元気のスメ!」**  
2007年6月1日スタート!!



鎌倉ケーブルテレビにて1日2回放映決定  
 ① 8:30 ~  
 ② 22:40 ~ (月火水木)・22:30 ~ (金土日)

内容は会員が参加するイベント等をいち早く鎌倉ケーブルテレビが取材、情報提供番組として五分間放映します。内容は定期的にゆめクラブ鎌倉の専門部会の会員

ゆめもも58号 主なもくじ	
2面	伊藤玄二郎氏インタビュー
3面	加入増強へのひと工夫
4面	鎌倉ゆかりの人・小林 勇
5面	ゆめクラブ鎌倉の動き
7面	鎌倉市・足利市老連姉妹都市交流会
9面	鎌倉海濱ホテルを憶う
10面	会員投稿コーナー
12面	鎌倉散歩、やまももさん

今回の「かまくらびとに聞く」には、(株)かまくら春秋社代表・伊藤玄二郎氏を迎えることができた。氏が発行人を務める文芸タウン誌『かまくら春秋』は、昭和四十五年創刊から現在まで鎌倉の歴史、文化、風情、情報をまさに絶妙な配分で掲載、しかも手のひらにしつくりくるサイズがまたいい。

今なお読者の心を掴んで離さない『かまくら春秋』に、我々の『やまもも』も大いに学ばせていただこうという思いと、伊藤氏がちょうど団塊世代の当事者であるので、この世代の本音も聞いてみたい。そしてもう一つ、河出書房編集者時代からの鎌倉文士とのエピソードもうかがいたいなど、あれもこれもと頭の中がはち切れんばかりの思惑を抱えて、いざ春秋社へと向かつたのである。(対談者 都筑 門田)

鎌倉市の人口 175,902人 高齢化率(65歳以上) 全市 25.2% (地区別※ 鎌倉地区 7.7%、腰越地区 4.3%、深沢地区 4.9%、大船地区 5.4%、玉縄地区 2.9%) 平成19年3月末日現在 ※市全人口に対する割合  
鎌倉市老連会員数 4,001人 (地区別 鎌倉地区 1,416人(35.3%)、腰越地区 465人(11.6%)、深沢地区 706人(17.7%)、大船地区 827人(20.7%)、玉縄地区 587人(14.7%) 平成19年3月末現在  
★鎌倉市老連ホームページアドレス <http://www.kamakura-rouren.jp/> ★メールアドレス [info@kamakura-rouren.jp](mailto:info@kamakura-rouren.jp) ◎数字は住民基本台帳をもとにしています

## 七十歳はまだ「子どもの年」



河出書房に入社してすぐ、鎌倉住まいということがから、近くに住む文壇の大御所、里見弾、小林秀雄、永井龍男等への作家まわりを命じられた。大学を卒業したての二十四歳の氏にはまさに試練で、中でも気難いことで有名だった里見弾宅に行つた際、「ほくの作品を読んだことはあるか」と問われた時の緊張感は今でも忘れられない。

「実は、伺う前に作品を読んでいたのかとも考えましたが、この期に及んで付焼刃だときけいに先生に失礼だと思つて、全く読んでいませんでした。それで先生に『読んだこともないし、里見弾のお名前も今まで知らなかつた』とお答えしました。すると先生は『正直でいい』と言つて、以来随分とかわいがつてもらいました」。

この時の里見弾は八十を超えていたが、永井龍男がのちに伊藤を「里見さんのうちの人」と評したほど編集者の立場を離れ私淑した。弾は懐にとびこんできた伊藤を恩子のように導いた。とりまく文士たちの中にあって、彼は「末

座の幸福」を味わい、これを糧として「文芸タウン誌」を着想する。そして古都鎌倉に倉文士たちの流れを巧みにとりこんで無料地域情報誌とは趣きの違つユニークな雑誌を送り出したのだ。

弾の晩年のエネルギッシュな仕事ぶりを間に見ることができたが、当時一〇四歳だった里見の姉の高木志満子さんの言葉が忘れられない。

「七十歳はまだ子ども」といわれたが、これから年を重ねていく私にとっても大変励みになる言葉だ。ゆめクラブの皆さんも志満子さんのように凛として年にこだわらず若い世代の大きな目標であつてほしいのです。

### こだわりを持ち 付加価値をつける

昔、老人クラブが隆盛を極めたのは、コミュニケーションが図れる唯一の場所であり、心の拠り所だから。しかし、今は情報があふれて一人でも寂しくない、個人が個人で成り立つ時代になつた。老人の大衆化というか、それは組織にあつてもしかりで、大衆化が押し寄せている。そんなど時代の中で老人クラブはどう生き残るか。

「組織というのは長く保つことも大切ですが、賞味期限といふものもある。無理して引っぱらずに、時代の流れに沿つて一度無くしてみるのもいい。ゼロから改めてパッケージし直すのもいいのではないかと思います。ただ、今も老人クラブが会員の心の拠り所であるのも事実。あせつて無

に帰すというのではなくて、本当にやりたいこと、楽しいことにこだわりを持ってば、それをやりたい人や楽しいと思えが集まつてくると思います。こだわった活動で付加価値をつける、さらにそれが文化的価値を持つものなら、なう人が集まつてくると思います。こだわった活動で付加価値をつける、さらにそれが文

化的価値を持つものなら、なう人が集まつてくると思います。こだわった活動で付加価値をつける、さらにそれが文

が、天台声明(しようみょう)。声明とは眞言や経文などに節をつけて唱える仏教儀式の伝統的声楽曲で、五・六世紀に仏教伝来とともに日本に伝えられたもの。

「直木賞作家の永井路子さんに声明を教えていたたいたのがきっかけですから、もう七年になります。昨年、ヘルシンキで行われた天台声明のインキでは、芥川龍之介の「蜘蛛の糸」と声明をコラボレートさせて大変好評でした。声明はいろんなジャンルの音楽ともコラボできるし、無限の可能性を秘めています。音楽に国境はないことも教えられました」。

「ゆとり教育の弊害を埋めたい」という思いから始めました。朗誦会は、まず般若心経を唱えてから座禅を組む。女性の牧三千子さんの名作朗読があり、私の解説、お寺のお供物をいたたくという行程です。下は二歳から上は八十歳くらいの幅広い世代が参加されます。朗誦を聞いている子どもたちの表情が実際にいい、ゆるぎない核をもつこと有必要なのだ。

核を持つには徹底した吟味も必要だし、その核についても、まず自分たちが「楽しい」とか「ワクワクする」などの感情が持てるかということも当然必要。しかし核を決めたら、迷わず最後まで楽しんでみる。それが「偉大なマンネリ」なのだ。

伊藤氏を通じて、団塊世代はこだわりを持つ年代であることもわかつた。この世代への加入促進について、大きなヒントをいただいたよつだ。

### 伊藤玄二郎 氏 プロフィール

いとうげんじろう 1944 年鎌倉市生まれ。中央大学法学部政治学科卒業後、河出書房に入社。里見弾、小林秀雄ら鎌倉在住の作家を担当。1970 年㈱かまくら春秋社を設立(代表に就き現在に至る)。1988 年日本ペンクラブ会員。1991 年日本ポルトガル協会会員。関連会社㈱人間社を設立(代表に就き現在に至る)。1998 年ポルトガル国立リスボン工科大学客員教授(現在に至る)。2002 年関東学院大学人間環境学部教授(現在に至る)。2004 年エンリケ王子勲章コメンダドール章叙勲(ポルトガル政府より)。主な著書に「風のかたみ」「末座の幸福」、編書に「父の肖像」などがある。

だから隔月発行の「星座」(株)かまくら春秋社発行)、「かまくら春秋」の編集の原点は、隣の人にお読みたいと思ってもらえる雑誌づくり。読んで納得してもらえるタウン

誌を目指しています。それと、東京までの約一時間の車内で読み終える分量というのがコンセプトです。そこでさまざまな企画を考えるわけですが、新鮮な企画と「変わらない企画」が必要になります。もちろん何を「変わらない企画」にするかが大きな問題ですが、「かまくら春秋」にはそれが二~三本あります。いい意味で「偉大なマンネリ」です」。

ゆずれない核を持つことだらう。それは「やまもも」の編集だけでなく、単位や地区、市老連全体のクラブ活動についても言えそうだ。これだけはという信念にも近い、ゆるぎない核をもつこと有必要なのだ。

核を持つには徹底した吟味も必要だし、その核についても、まず自分たちが「楽しい」とか「ワクワクする」などの感情が持てるかということも当然必要。しかし核を決めたら、迷わず最後まで楽しんでみる。それが「偉大なマンネリ」なのだ。

伊藤氏を通じて、団塊世代はこだわりを持つ年代であることもわかつた。この世代への加入促進について、大きなヒントをいただいたよつだ。

# 加入増強へのひと工夫

## 魔法のことばとは?!

**県老連**

### 進む加入促進への動き

平成十七年の八月から、老人クラブの活性化と加入促進について、専門委員会をもうけ、この永遠ともいえるテーマに取り組むこととなりました。専門委員会では、まずその価値を認めながら、なぜ会員が減少、クラブの解散が進んでしまうのかなど、多くの議論がなされ、課題の整理を行っていきました。

### 当面の課題は六つ

これより以前には、県老連機関紙「ゆめジャーナル神奈川」でも、平成十六年四月から「かわらなきや老人クラブ」のシリーズを開始。専門委員会は七回の協議と様々な情報を得る中で、課題を①リーダー②クラブ活動の内容③経営(財政)④活動の拠点と範囲⑤広報⑥地域団体との連携の六つにしぼりました。

### 原理原則は「楽しい」と

私は、個人的に極言すれば課題解決は結局老人クラブが楽しいか否かと思いました。参加して、人のお世話をし、仲間といふから楽しい…。

老人クラブの活動の全体像に、二本の柱があります。生活を豊かにする楽しい活動と、地域を豊かに上手にできているのです。が、それが「楽しい」ことで、

それが案外大切なことだと思うのです。

### 「手伝つて」という魔法のことば

さて、今年、団塊世代が老人クラブ加入適齢期ですがなかなか加入してはくれません。ここでがつかりせず、魔法のことばが老人クラブを救います。老人クラブで実際行事を行うときに団塊世代もふくめ未加入の若い世代に向かつて「こちらも年取つて体もしんどい。手伝つてくれないか」というのです。「老人クラブにはいらなか」ではありません。困つていれば「れども人の情。サポーターはかなり期待できそうです。こうして、老人クラブ加入の種は時かれます。そのため、日常的にそれ以前に自分が無理せず楽しんでやれる」と、たとえば隣近所の「あいさつ」などがあります。何かできそうな気がしてきませんか。

平成十七年十一月の第一回から以後、隔月に委員会を開催してきました。第一回の委員会では、青池県老連総務課長を招き、広い視野から県内各老人クラブの現状、年間行事、会員減少への対策、さらには近づく団塊世代との交流などについて、貴重な情報が寄せられました。

「ゆめジャーナル神奈川」を通して入る情報を基本として、地域に即した運動、行事を開拓することは私たちの課題だと感じました。各地区長からの状況報告の中から、活発な活動を開拓する単位クラブの報告がありました。これらのクラブをモデル地区に決定、今後のあり方の指針になつていただきたいとお願いしました。

◆新しい企画をどんどん取り組む

### 「加入増強」推進事例

大分県別府市

楽しみ農園を軸にした友愛活動としても広がりつつある。

その活力源は、役員や班長が集まって頻繁に行われているという「サロン」にある。何でも話し合える心の拠り所、こうした場所づくりも会の活性には欠かせない要素だろう。発想の転換、企画の勝利である。

◎加入促進には、①役員の協力と地域の方との連携②会長の熱意③会員主体的魅力的な活動が必要である。そしてなにより、会長自身が自分のクラブを「楽しむ」事が一番大切なのは?

**市老連**

地域ごとに即した活動や新しい行事の開拓が課題

・腰越地区西鎌倉親寿会  
会長 佐々木俊文

・深沢地区寺分楓会  
会長 大野 秀夫

会員増強は、打つて一丸となり行う不斷の努力です。地域に密着した行事への参加、コミュニケーションの継続などが結果するのかと思います。「テレビ」の活用、「やまもも」の活用、ゆめクラブの行事への参加をはじめ、これからも開かれた老人クラブとして行事を開催していくたいと考えています。



## 鎌倉市老人クラブ連合会（平成19年度）の動き

日 稲	行 事 名
4月4日(水)～6日(金)	市老連春期研修旅行（和歌山・白浜）
4月11日(木)～26日(木)	いきいきノルディックスポーツ
4月27日(金)	平成19年総会（鎌倉生涯学習センター）
5月17日(木)	歴史探訪
5月18日(金)	足利市老連交流研修会
5月20日(日)	機関紙「やまもも第58号」発行
6月20日(水)雨天の場合22日(金)	グラウンドゴルフ大会（笛田公園広場）
6月27日(水)～29日(金)	市老連研修旅行
7月2日(月)～5日(木)	第43回老人大学寿講座（レイウェル鎌倉）
9月2日(日)	福祉バザー
9月5日(水)～7日(金)	市老連秋期研修旅行
10月7日(日)	鎌倉銭湯寄席
10月3日(木)～11月10日(土)	ダンス講習会（武道館）
10月10日(水)	講演会
10月15日(月)雨天の場合16日(火)	横須賀三浦ブロックスポーツ大会
10月18日(木)雨天の場合19日(金)	グラウンドゴルフ大会（笛田公園広場）
11月6日(火)～12日(月)	第35回高齢者の趣味の作品展（大船第一・第二・玉縄地区）
11月9日(金)	功労者のつどい（鎌倉生涯学習センター）
11月22日(木)	芸能大会（レイウェル鎌倉）
11月25日(日)	機関紙「やまもも第59号」発行
11月26日(月)～28日(水)	市老連研修旅行
12月7日(金)	年末慰問
1月9日(水)	新年賀詞交歓会

## 第43回老人大学寿講座予定表

開催日	時 間	演 題	講 師
7月2日(月)	9:30～11:30	良寛さんと 一茶の生きざま	文芸評論家 尾島 政雄氏
7月3日(火)	9:30～11:00	高齢者の年金問題、そし て皇室のお話について	フリーアナウンサー 久能 靖氏
7月4日(水)	9:30～11:30	世界遺産登録を目指して 武家がはじめて造った政権都市	世界遺産登録推進担当 玉林 美男氏
7月5日(木)	9:30～11:30	さあ元気に歌おう、あの歌、 この歌！ えっ、新しい歌も	うたごえの店ともしび 加藤 晴夫氏

## 地域出前講座「いきいき健康体操講座」(平成 19 年度)

地区	開催場所	開催日程	定員
鎌倉第二	稻村ヶ崎小学校	6/2, 6/9, 6/16, 6/23, 6/30(毎週土曜)	30
深沢	深沢生涯学習センター	6/5, 6/12, 6/19, 7/3, 7/10(毎週火曜)	30
鎌倉第三	大町自治会館	10/7, 10/14, 10/21, 10/28, 11/4(毎週日曜)	30

※会員以外の方の募集は、市広報でお知らせいたします。

#### ◆その他近日開催予定の行事

- 5月20日(日) 第5回世代ふれあいの会開催  
(鎌倉市立深沢中学校体育館) 13:30~  
10月4日(木)~11月1日(木) 毎週木曜日  
水中ウォーキング  
(山崎こもれび湯水プール) 14:00~



## 平成 19 年 鎌倉市老連総会を開催

市表運動の報告と懇親の二二六

新緑の香りが漂う緑の日  
に先だって、四月二十七日、平成十九年鎌倉市老人クラブ連合会総会が生涯学習センターで開催されました。大久保会長あいさつ後、佐々木俊文氏が議長に選出され、議事に移りました。平成十八年度事業報告、収支決算報告に続き、平成十九年度事業計画案、予算案などが審議され、質疑応答を経て原案通り満場一致で承認されました。

例度体操に起らせる世界遺産登録の取り組みでも常に率先したいもので、団塊の世代を迎えて、お互いに融合し仲間づくりに、新たな活動に、清新の気を取り入れたいものであります。

一部は武家の都、古都鎌倉を世界遺産登録推進に向けて、学芸員の斎藤一真講師から理解を深めていただけ講演が行われました。この運動には地域に根ざす高齢者の知識と経験を活用されたいものと結ばれ、満場の関心を呼びました。



楽しい頭の体操「麻雀教室」

たが、これらを排して賭け事なし、金銭無関係、相互の親睦を打ち出しました。呼びかけが実り会員の理解を得てゆめクラブ鎌倉でのユニークな発案が実を結びました。

麻雀教室は、NPO法人健康麻将全国会の支部の主催で、今年の一月からはじまりました（手広西公会堂で月四回、火曜日午後一時から四時まで）。

四人ずつ二卓を囲んで講師の話に耳を傾け、講義とともに進行する黒板の文字を目で追いながら、手もとの牌を見比べて分かつたような顔をしてうなづきながら、和やかに卓を囲んでいました。経験の有無にかかわらず、分かりやすく、その都度実際の牌に手を触れながらの説明を受けていました。ときどき巡回され

る助講師の方が親切に指で三  
して丹念に教えていました。  
「ヤア」の声とともに「ロン  
と張りのある声がして手が拳  
がりました。講師が近づいて  
「やりましたね、キレイに左  
がっています。」この場合には  
この牌を…」などと声をかけ  
て周囲の人がのぞき込むと  
ころへ、牌を示して詳細な説明  
を加えて指導していました。

初心者も中級者も、時には  
首をかしげて「ハテナ」とや  
るとただちに講師が足を運ぶ  
できます。どんなゲームか?  
からはじまつて、あがり方  
フリテン、一個縛り、ツモな  
ど、基本四役など口を追つて  
楽しさが増し、お互いの親睦  
感が増していくようでした。



門月島

四月の声を聞くと、なぜか心温かくパワーがるようだ。四月四日から六日まで、二泊三日の「ゆめクラブ鎌倉」春のバス旅行で南紀白浜と勝浦へ行きました。

ときおり富士山の頂上を眺めながら東名高速道路を進み車中で昼食弁当を楽しました。食べ終わつた頃には進行方向の右側の空に黒い雲が出始めました。東名阪道を走行中に突然強い突風を受けて数回バスが横倒れしそうになつたり、粉雪がチラチラしたりと自然の力に驚きました。きっと沿線の満開の桜もびっくりした事でしょう。

白浜温泉の手前に円月島という珍しい島がありまます。正式には「高島」といい、臨海浦の南海上に浮かぶ南北一三〇メートル、東西十五メートルの小島ですが、島は進行方向の右側の空に黒い雲が出始めました。東名阪道を走行中に突然強い突風を受けて数回バスが横倒れしそうになつたり、粉雪がチラチラしたりと自然の力に驚きました。きっと沿線の満開の桜もびっくりした事でしょう。

白浜温泉の手前に円月島といふ珍しい島がありまして。正式には「高島」といい、臨海浦の南海上に浮かぶ南北一三〇メートル、東西十五メートルの小島ですが、島は進行方向の右側の空に黒い雲が出始めました。東名阪道を走行中に突然強い突風を受けて数回バスが横倒れしそうになつたり、粉雪がチラチラしたりと自然の力に驚きました。きっと沿線の満開の桜もびっくりした事でしょう。

二泊目の宿泊先、ホテル良浜といわれる白い砂の海水浴場がありますが、砂が少するので、オーストラリアから運んでいるとの事ですが、昔の砂の白さは失われているそうです。

二日目は千畳敷の岩場を観てから三段壁洞窟へ。ここは屏風のように濃緑の海に直立する、高さ四十二メートルの絶壁。そして、その岩層深くに眠る、かつては熊野水軍の船隠し場である「櫛」の大樹は熊野信仰の象徴となっています。

朱塗りの立派な社で、樹齢千年の国指定天然記念物木をうつとり眺めていると、車窓に獅子そっくりな岩があり、車内の話題が一層盛り上がりました。

今回も楽しい思い出のバス旅行でした。

市老連  
春の研修旅行

大船田園柏寿会 大久保安夫

## 春らんまんの南紀白浜・勝浦旅行

四月の声を聞くと、なぜか心温かくパワーがるようだ。四月四日から六日まで、二泊三日の「ゆめクラブ鎌倉」春のバス旅行で南紀白浜と勝浦へ行きました。

ときおり富士山の頂上を眺めながら東名高速道路を進み車中で昼食弁当を楽しました。食べ終わつた頃には進行方向の右側の空に黒い雲が出始めました。東名阪道を走行中に突然強い突風を受けて数回バスが横倒れしそうになつたり、粉雪がチラチラしたりと自然の力に驚きました。きっと沿線の満開の桜もびっくりした事でしょう。

白浜温泉の手前に円月島といふ珍しい島がありまして。正式には「高島」といい、臨海浦の南海上に浮かぶ南北一三〇メートル、東西十五メートルの小島ですが、島は進行方向の右側の空に黒い雲が出始めました。東名阪道を走行中に突然強い突風を受けて数回バスが横倒れしそうになつたり、粉雪がチラチラしたりと自然の力に驚きました。きっと沿線の満開の桜もびっくりした事でしょう。



那智大社から那智御瀧を望む



獅子岩

お問い合わせは、ゆめクラブ鎌倉事務局まで!



泳げない…、でもプールには入れる方、膝や腰に負担をかけず、また体力に自信のない方でも安心です。水の抵抗や浮力をを利用して楽しくウォーキングしてみませんか？

10月4日～11月1日  
毎週木曜日に開催

初心者入門コースでは、「正しいダンス、正しい姿勢でやさしく踊る」をモットーにして楽しく教えて下さい。興味のある人は、男女がしなやかにふれあい、リズムにのつて踊ってみませんか？若い人に負けない

老人クラブは美容と健康、仲間づくり、会員の交流そして親睦を深めることなどを目的に三年前からダンス教室をはじめました。初めは「老人クラブがダンスをはじめるのか？」と不審の声もありますが、三年目を迎えますと会員も口コミでそれなりに増えました。

**Shall We Dance?**  
楽しく踊って元気になろう  
ふれあい鎌倉  
ダンスパーティー  
12月22日開催



6月1日チケット発売開始!  
★参加費 900円  
★ご希望の方は坂尻まで☎ 31-2776

**鎌倉ケーブルテレビは JCN 鎌倉 に変わります**

今まで以上に地域密着のサービスを実現します

ゆめクラブ鎌倉とJCN鎌倉の共同制作番組

**「鎌倉 元気のススメ！」**

2007年6月スタート！ご期待ください

**鎌倉市老人クラブ連合会の皆様  
足利市への友好訪問  
ありがとうございました**

足利市老人クラブ連合会 副会長 渡辺 平治

平成18年12月6日、鎌倉市老人クラブ連合会の皆様が姉妹都市である私たちの足利市へお出でになり、足利市老人クラブ連合会と交流研修会を開催することができました事、本当にありがとうございました。

研修会ではお互いに直面しているいろいろな問題を話し合い、老人クラブの仲間づくりを基本とした生きがいと健康づくりに取り組んでいる様子をお聞きし、大変参考になりました。

自らの生活を豊かにする楽しい活動を行うとともに、持てる知識や経験を生かして地域を豊かにしようと努力されていることも良くわかりました。

生きがいのある日々をおくるための心構えや、地域の人々への心遣いを図ることなども交流のために必要なことです。さらに高齢化が進み、老人は増えるのにクラブの会員が減少するという逆転状況をどうするか、など会員の加入促進運動を、どのように展開するかなど、これから課題も真剣に話し合い、クラブ活動のさらなる充実を図ることなど有意義な成果が得られ感謝しております。

また、健康、スポーツ、旅行などの取り組み方についても参考になることが多い、これからのクラブ活動の活性化について、意見の交換ができました。

平成19年5月17日に私たち足利市老人クラブ連合会も、答礼の意味も込めて鎌倉市へ訪問する計画を立てておりますので、その節はまたいろいろなお話を聞かせていただけるのではないかと期待しております。

鎌倉市と足利市の姉妹都市締結は、今から25年前の昭和57年4月であり、歴史の町、文化の町、観光の町などいろいろな共通点のある両市は、交流と親睦を図り、新しい町へと前進しているのです。

私たち老人クラブも新しい時代に即した体制で臨み、健康で楽しく前進したいと思います。

まずは鎌倉市老人クラブ連合会の皆様の足利市訪問を深く感謝して御礼を申し上げます。

**「鎌倉市・足利市老人クラブ連合会」姉妹都市交流研修会**



グループ討議で活発な意見交換  
交流を深め、実りある一日に

足利市老連・田中会長はじめ足利市老連の皆さんとの温かい出迎えを受け、交流研修会は和やかにスタートしました。はじめに両市老連会長からあいさつがあり、次いで両市老連の事業紹介に移りました。足利市老連は二〇六七一名の会員（男三八二地区、一九六クラブ、一〇六七一名）がわかつた。両市とも会員増強

鎌倉市老連からは、大久保会長二十二名の理事、職員が出席。足利市老連・田中会長はじめ足利市老連の皆さんとの温かい出迎えを受け、交流研修会は和やかにスタートしました。鎌倉市老連からは、大久保会長二十二名の理事、職員が出席。

足利市老人クラブ連合会姉妹都市交流研修会が開催されました。

昨年十一月六日、栃木県足利市民会館で第一回目となる鎌倉市・足利市老人クラブ連合会姉妹都市交流研修会が開催されました。

足利市では「元気老人課」というようになります。

足利市では「元気老人課」というようになります。



温かい出迎えに心が和みました

人」という言葉を使っています。これは、「老」はもともと「老師」など年老いた人を敬うよい言葉なので恥じることなく誇りを持とう、という考え方からです。

Aグループ 足利の「支部」と鎌倉の「地区」は資金面、活動範囲などで同様の性質を持っていることがわかつた。両市とも会員増強

Bグループ 健康の秘訣は「食べる・動く・寝る」ことで、会員のためにも健康で活動することが大事。足利市はカラオケ、グラウンドゴルフなど様々な活動の場を利

Cグループ お年寄り一人ひとりが求めていることを真剣に考えて活動に取り入れていくことが老人クラブの活性化につながります。これが老人クラブの活性化につながるのではない

Dグループ 入会しても行事

Eグループ 後継者を取り入れるために青春の気持ちを持つには我々も青年人の活動が大切だ。

Fグループ 足利市は一つの単位クラブの人数も多く、お互いがお互いをよく知っている。コミュニケーションがうまくいくことが会員の増強につながっているのではないか。

発表後、コメント

田中会長は「私たちが知恵をしほり、しっかりと活動して若い世代をPRしている」

研修会後は、足利学校とそれに隣接する鎌阿寺を見学して帰途に取り入れていこう」と講評され、終了となりました。

今日の研修会を糧に明日からの活動に生かしていく」と話され、田中会長は「私たちが知恵をしほり、しっかりと活動して若い世代を



鎌倉のシンボルは八幡宮であり大仏だが、往時リゾート化の中にあって、鎌倉海浜ホテルも一つの象徴的 existed。その姿を語れる人が少なくなった今、その存在を跡づけてみたくなつた。

鎌倉は江戸時代から懐古趣味による観光地化しつつあつたが、明治に入つて保養地・別荘地・海水浴場として発展し、それを支援しあつた恩人は、ベルツ（ベルツ）と長与専斎（長与専斎）である。ドイツ人ベルツ（1849～1913）は、明治九年二十七歳でお雇い教師として来日、講義の外大正天皇・高官たちの主治医として一

# 松林の中の 知られざる別世界 鎌倉海濱ホテルを憶う



サナトリウムとして出現。早くも一年余でホテルに変身。湘南の帝国ホテルをめざしたが、経営はいつも難航。モダンな讓治もナオミも門構えを見て入館躊躇。歴史の蔭で外国人に愛され占拠されつつ、鎌倉文士は敬遠したらしい。

十九年間滞日した。彼は保養地として湘南地方を最適地とし、七里ヶ浜の景観を激賞、自身は葉山に別荘を所有し、高官たちも競つて鎌倉に別荘を建てた。

明治四年からの岩倉使節団で医事行政担当で参加した専斎は帰国後、文部省医務局長・内務省衛生局長などに任せられ、米欧の休養地転地療法の視点を導入、自らは由比ヶ浜に別荘を持った。二年のち十九年横浜の富豪（猿木義衛）に出資させ、開業医（良薦）を院長とし、外人コックも高給で雇い入れて発起人となつて保養所海浜院サナトリウムを自らの別荘の並びに開いた。

海水浴は当時「塩湯治」「海湯治」と呼ばれ、海水に浸り波に打たれ皮膚を鍛えるのが目的で医師が付きつきり、時間は厳格食事は豪華、遊戯施設も備わつていたが、かなり高価で特権階級でなければ利用できなかつた。従つて海水浴シーズン以外は流行らず、早くも二十一年には海浜院ホテルと変身する。

二十二年の横須賀線開通でさうに別荘地・保養地としての名も高まり、転換後二、三年は外人客を中心にして盛況だつたようだが、やはり帝国ホテル並みの料金ではお客様に限りがあり、活況は長続きしなかつた。

二十九年横浜のイギリス人機械商ヒーリングと友人の外国人たちが出資し、世界的建築家コンドル（鹿設計館）

A black and white photograph from the late Meiji era (around 1910) showing a group of approximately 15 women in traditional Japanese kimonos standing in two rows in front of a building. The women are wearing various patterns of kimonos, including floral and paisley designs. They are holding small bowls or trays in front of them. The building behind them has a dark wooden facade and a visible entrance. The overall scene suggests a formal group portrait of staff members.

写真提供：中央図書館

十九年間滞日した。彼は保養地として湘南地方を最適地とし、七里ヶ浜の景観を激賞、自身は葉山に別荘を所有し、高官たちも競つて鎌倉に別荘を建てた。

明治四年からの岩倉使節団で医事行政担当で参加した専斎は帰国後、文部省医務局長・内務省衛生局長などに任せられ、米欧の休養地転地療法の視点を導入、自らは由比ヶ浜に別荘を持った。二年のち十九年横浜の富豪（茂木翁）に出资させ、開業医（良薦）を開業医（近藤）を院長とし、外人コツクも高給で雇い入れて発起人となつて保養所海浜院サナトリウムを自らの別荘の並びに開いた。

海水浴は当時「塩湯治」「海湯治」と呼ばれ、海水に浸り波に打たれ皮膚を鍛えるのが目的で医師が付きつきり、時間は厳格食事は豪華、遊戯施設も備わつていたが、かなり高価で特権階級でなければ利用できなかつた。従つて海水浴シーズン以外は流行らず、早くも二十一年には海浜院ホテルと変身する。

いるのを見ると、西洋菓子が歩いてるようだへん  
きれいです」と書いた。彼はホテルの食堂では金がかかるので、使用人たちの賄をしていた人の好意で女中たちと同じものを朝晩六十銭で取り扱つてもらつた（下宿代は十円）。

この頃世界大戦により景気がよくなり営業成績も良好で九年にバス付客室を二十四増やす。これをみて安田・浅野財閥が海岸埋立てによりホテルを建てようと画策したが、町会・同人会の反対の自然保護の運動があり取り上げたといふ。

大正十二年の震災は、松林の砂丘が高台にあり、海水をかぶらなかつた。建物は全館破損、倒壊には至らず修理して半年後には復旧工事にかかり同業者に先立ち開業できた。

「痴人の愛」(113)の文中に、「鎌倉では三橋（旅館）にしようか思いきつて海滨ホテルに泊ろうかななどと…先ず門構えの厳めしいのに…」とあるが、これは長谷の通りを圧迫されて、長谷の通りを

二度も往つたりきたりした末に、とうとう土地では「一流か三流の金波館へ行くことになつたのです」とあり、谷崎にとつても近寄りにくい構えだつたのである。

昭和二年横光利一は新婚旅行で泊まつた。偶々佐佐木茂索が原稿を書いている部屋に、張羅のモーニング姿でステッキを持ち、高島田の少々崩れた新妻を連れて現れたとある。

昭和に入つて郵船出身の春日助太郎が支配人となり、客室を六十とし、二五〇人収客しうる大食堂をつくり、室代二円から十二円（在長浦）、朝食（一・五円）毎（二円）晩（三円）お茶と菓子（五十銭）と「皆様のホテル」を標語にして結婚式場としての利用を宣伝したが、やはり気軽に利用とはいかない。

昭和六年、海の銀座と壱り出し、九年には第一回力一二バルがはじまる。十年元旦鉄幹晶子夫妻が泊まり、大仏を拝みに行つた。さて私がホテルに行つたのは、十三年と十七年他に馬車で一度乗りつけたこともあり数度であろう。新しいもの好きの日本橋の織物問屋の大旦那の祖父が、祖母とその姪と私、店の番頭、小僧さんを交互に夏の「海の家」に呼び、慰労と勉強のため連れていつた。私も幼少ながら生意気にコース

マナーを学んだ。ある時食事中皿を持ち去られそうになつた番頭が「ねえちゃん、俺まだ食べてんだ。ちょっと待つて…」と大声を発し、祖母にたしなめられた情景を覚えている。豊島屋の三代目久保田氏もよく訪れた体験をもつておられるが、やはり幼くしてマナーを学び、格式の高いダイニングだったという。氏も砂丘の上のあずま屋で、S·K·D（松竹歌劇団）の江戸川蘭子が白いドレスで歩いていた姿を見たといわれるが、私は漫談家の大辻司郎がいて色紙に似顔絵を描いてもらつた思い出がある。

私は幼少時より材木座の海辺になじんだので、人一倍やわらかいざくざくとした白い砂に失われた海岸とともに懐旧の念にかられる。

独歩の「運命論者」(M45)にも、「砂山が崩れてその下は崖のようになり、その根方に両足を投げ出すと背中が砂山にもたれて、まるでソファに倚つたような場所を探し当てた」とあるが、年月は大分経っているがこのホテルの前の情景は私の記憶と重なつているのだ。

私がはじめて行つた十三年頃は、ファシスト党的黒シャツ姿のイタリア使節団が宿泊したり、ヒットラーの親衛青年組織（ユーゲン

ト)が四泊したりして、いたのち第二次世界大戦が始まり、ドイツ人がロシア経由で帰れなくなり、長逗留が増え、ホテルは繁昌していったようだ。十八年以降はホテルの機能はなく、終戦後は進駐軍に接收され、終戦後の年クリスマス・イブに使用を禁止されていたストーブを米兵が倒し出火、主な建物を焼失した。

ホテルは一度と再建されず長い間砂地雜草で格子の草野球のグラウンドだった。

五十一年キリンビールをバツクとして、鎌倉シーアイドテニスクラブが発足今十一面のコートで球を行つ音と声で賑やかだ。当時の面影を保っているのは正面入口、鈴木屋酒店の前の三本の松のみである。

滑川の東地域を書いた「失われた海岸、やわらかい白い砂」、「やまもも」号をお持ちの方は併せてお読み下さい。

## 会員投稿のコーナー

## 自然の美しさは人々の心と調和する

モーツアルトの生誕二五〇年ということで、日本でもいろいろな記念行事が行われていた。NHK(BS)では、毎朝その生涯と華麗なるメロディが紹介され、改めてその天才ぶりに驚嘆し、かつ楽しませてもらつた。

この楽聖と同じ一月二十七日生まれで、彼をこよなく愛する息子に先導され、妻と三人でその足跡をたずねる東欧の旅をした。

オーストリアの古都ザルツブルグは、モーツアルトゆかりの音楽の街で多くの遺跡がある。

黄色い壁の生家の四階には、彼が使用していたピアノ・バイオリン・直筆の楽譜・肖像画などが陳列されていた。また、彼が洗礼を受けたという大聖堂(ドモ)をはじめ街中に多くの遺跡がみられる。

そのなかで、まず彼の墓を探した。約千人の音楽家が眠っているという広大な中央墓地を訪れた。そこに



モーツアルトが眠るサンクト・マルクス墓地にて



モーツアルトの墓地が集められていた。その中央には、モーツアルトの大きな記念碑像がたてられていたが、墓はなかった。そこで、苦手な英語を頼りに、やつ小雨の降るなか訪ね歩いて、やつとその墓地を探しあてた。訪れる人も少ない、寂れたサンクト・マルクス墓地に、彼は一七九一年、三十五歳の若さでこの共同墓地に無縁仏のように、寂しく埋葬されたのである。

その墓は、故人の気持ちを象徴するかのように、折れた石柱と小さな天使の像がベゴニアの花に囲まれていた。そのあまりにも寂しいリップルート(標高一三〇〇メートル)の立派なホテルに宿泊した。翌日早朝、散歩に出たとき、すでに道路の清掃をしている町の人々の姿を目撃した。

また、一九九七年に世界遺産となつた湖畔の町、ハルシュタットの美しさは、湖の風景だけではない。歴史ある小さな教会と同じ時を刻んできた町並み、それに調和した生活をしている住民の姿にあつた。



美しいザルツブルグの街並み

モーツアルトの墓地は、長い歴史のなかに培われた「眞実は勝つ」という観念が、国旗とともに国民の心の奥底にあるからにちがいない。

モーツアルトの墓地は、長い歴史のなかに培われた「眞実は勝つ」という観念が、国旗とともに国民の心の奥底にあるからにちがいない。

北海道とほぼ同じ面積しかなく、山野(70%)の多いこの土地でありながら、この国の人々のこの人生観や生活のあり方など、経済大国日本と離された私たちが、いつしか忘れてしまった大切なものをあらためて強く教えられる思いであった。

チロルの小さな美しい町・ハイリップルート(標高一三〇〇メートル)の立派なホテルに宿泊した。翌日早朝、散歩に出たとき、すでに道路の清掃をしている町の人々の姿を目撃した。

また、横断歩道でもないところを渡ろうとしている私たちを数台の車が、じっと笑顔でいつまでも待っていてくれるのである。地下鉄の車内でも誰もが笑顔で、人々も一緒に温かな祝福の拍手を送っていた。

それは、近隣の国々に翻弄された長い歴史のなかに培われた「眞実は勝つ」という観念が、国旗とともに国民の心の奥底にあるからにちがいない。

生活のレベルは日本の三分の一と貧しくとも、素直で明るく、そして笑顔が美しかった。たずね歩く私たちに、どこの人々も親切に対応してくれた。

そこには、最近の世情を見るにつけ、日本人が忘れかけている「心の豊かさと優しさ」を強く感じた。

それは、近隣の国々に翻弄され

た長い歴史のなかに培われた「眞実は勝つ」という観念が、国旗とともに国民の心の奥底にあるからにちがいない。

モーツアルトの墓地は、長い歴史のなかに培われた「眞実は勝つ」という観念が、国旗とともに国民の心の奥底にあるからにちがいない。

それは、近隣の国々に翻弄された長い歴史のなかに培われた「眞実は勝つ」という観念が、国旗とともに国民の心の奥底にあるからにちがいない。

生活のレベルは日本の三分の一と貧しくとも、素直で明るく、そして笑顔が美しかった。たずね歩く私たちに、どこの人々も親切に対応してくれた。

そこには、最近の世情を見るにつけ、日本人が忘れかけている「心の豊かさと優しさ」を強く感じた。

それは、近隣の国々に翻弄され

## 高齢者サービスのご案内

高齢者割引乗車証等購入費を助成します

鎌倉市では、市内を運行するバス会社が販売する高齢者向けバス乗車証（神奈中バス「かなちゃん手形」、江ノ電バス「オレンジワンコインバス」、京急バス「ふれあいバス」）、江ノ島電鉄が販売する「おでかけ電車回数券」、湘南モノレールが販売する「はやかごモノレール回数券」と、共通バスカード（対象は5,000円券）のいずれかの商品を購入する際に、1人年1回代金の一部（2,000円）を助成しています。

事業の概要は、次のとおりです。

- 対象となる方 平成19年5月1日現在、75歳以上でかつ鎌倉市内に住所を有するかた。対象となるかたには、市から5月末日までに「助成券」をお送りします。なお、5月1日以降、75歳になられるかたについては翌年度の対象となります。

- 購入できる期間 平成19年6月1日から12月31日まで。

一部乗車証については、販売日等の指定がありますので、ご注意ください。

なお、20年1月からの利用開始日分については12月中に購入してください。

- 助成額 1人年1回に限り 2,000円

### 《販売場所および問い合わせ先》

会社名	販 売 場 所	問い合わせ先
江ノ電バス	●鎌倉市内各営業所 ●鎌倉市内各販売所	(本社) 0466(24)2714
神奈中バス	●大船駅西口サービスセンター ●大船駅東口サービスセンター	0467(43)5698 045(891)3843
京急バス	●鎌倉営業所(当日渡し) ●鎌倉駅前販売所(翌日以降の渡し) ●京急バス案内所JR大船駅階段下1階ミネ进出口並び	(鎌倉営業所) 0467(23)2553 (大船案内所) 0467(48)5163
	☆共通バスカードは上記の各販売所でお買い求めください。	
江ノ電電車	江ノ島電鉄の次の駅 鎌倉・長谷・慈楽寺・稻村ガ崎・七里ガ浜・腰越	(本社) 0466(24)2713
湘南モ/レール	●湘南モ/レール大船駅 ●深沢本社業務課(9~17時 土日祝祭日を除く)	0467(45)0135 0467(45)3185

●注意事項 購入した乗車証、バスカード及び回数券は払戻し・返品できませんので、よく確認して購入してください。市から送られた助成券は、本人以外の使用及び他人に貸与または譲渡することはできません。

※助成券のお取り扱いには、十分ご注意ください。

高齢者福祉課高齢者活動担当

《助成対象となるバス乗車証、共通バスカードおよび江ノ電電車、モノレール回数券の概要》

会社名	乗車証名称	利用運賃等	券種と助成前の額	購入時に必要なもの
江ノ電バス	オレンジ ワンコイン バス	運賃(1乗車毎に) 現金100円 ※空港バス・定期遊覧・貸切バスを除く	3ヵ月(3,000円) 6ヵ月(5,000円) (随時販売)	•助成券 •本人確認書類 (免許証・保険証等)
神奈中バス	かなちゃん 手形	運賃(1乗車毎に) 現金100円 ※空港バス・高速バス・深夜急行バス等を除く	3ヵ月(3,000円) 6ヵ月(5,000円) 1年(9,000円) (販売日・有効期限日が決まっています)※1	•助成券 •本人確認書類 (免許証・保険証等) •顔写真(脱帽・1年以内 25mm×25mm) 本人のみ購入可能
京急バス	ふれあい バス	運賃(1乗車毎に) 支払いなし ※空港バス・高速バス・深夜急行バス等を除く	3ヵ月(12,000円) 6ヵ月(20,000円) (6ヵ月券は販売日・有効期限日が決まっています)※2	•助成券 •本人確認書類 (免許証・保険証等) •顔写真(脱帽・1年以内 24mm×30mm)
共通バスカード		バスカードによる 支払	5,000円(随時販売) (券種5,000円券のみ対象)	•助成券 •本人確認書類 (免許証・保険証等)
江ノ電 電車 回数券	おでかけ	回数券による支払	5,000円(随時販売) (回数券の有効期限は、購入日から平成20年5月31日までです)	•助成券 •本人確認書類 (免許証・保険証等)
湘南モノレール	はやかご モノレール 回数券	回数券による支払	5,000円(随時販売) (回数券の有効期限は、購入日から平成20年5月31日までです)	•助成券 •本人確認書類 (免許証・保険証等)



# 会员文芸

俳句

七里が浜句会 波木井ひ  
ふくよかな稚児のほっぺや梅つぼみ  
往きかえり夕暮れぶらんこのびる影

山ノ内梅鶯会 山下力ヨア

息切らし峠に立てば梅の里	七里ガ浜句会 阿部 弥生
カーテンを洗つて春の風入るる	七里ガ浜句会 加野 ヨウ
ブランコを漕ぐも思案の定まらず	佛の灯籠の灯佛間華やぎり
七里ガ浜句会 倉本 ふじ	七里ガ浜句会 加野 ヨウ
帆あげて原っぱ馳けて暮れし日日	新漬けの旬菜の香り春惜しむ
惜春や古着一枚捨てかねて	七里ガ浜句会 下條八州男
春愁のブルース午後のカフエかな	七里ガ浜句会 敦賀 笑子
墓参りあちこち目につく辛夷かな	重たげに馬酔木の花や春惜しむ

鞆韻の孫押す鈍き子守歌	七里ガ浜句会	藤枝
鞆韻の擦れ違う都度声交す		
春一番闇に膨らむ川面かな	七里ガ浜句会	松原
日脚伸ぶ薄暮の浜の白い月		董
砂文字をかけば現われ桜貝	七里ガ浜句会	
春愁や難踏にゐて人恋いし		
葛切を啜り花見の客となり	七里ガ浜句会	棟渡登志子
朧夜の帰らぬ猫に戸を締めず	七里ガ浜句会	米澤せつ子
葛切を啜り花見の客となり	七里ガ浜句会	矢島
能舞台耳にのこりし鼓のおぼろ	七里ガ浜句会	芳子
合掌を解きて梅見の人となり		

◆川柳  
笛田東芝珀桜会 原田ダル一  
自分史に小さな華を添えて見る  
初恋を聞かれる度に歳をとり  
愚痴さえも楽しんでゐる老夫婦

川柳

山ノ内梅鶯会	高橋	城
かのる鉛の綿		
木いて山笑う		
世りんどう会		
光たり船の旅		
云の言葉となる昨今	中久喜た	
浄明寺寿会 山本 照ア		
けなき膝がしら		
、谷戸の花月夜		
出東芝珀桜会 原田ダル二		
ま華を添えて見る		
度に歳をとり		



今号のやまももさん

新鎌倉山笹りんどう会  
日浦マツエさん(101歳)

腰越の閑静な住宅街にお住まいの日浦マツエさんは、明治三十九年六月十一日生まれの一〇一歳。お会いした第一印象は「とても矍鑠としている」でした。健康の秘訣を尋ねると「よく歩きよく食べること」と教えてくれました。そんな日浦さんの日常は、早寝早起きはもちろん、朝晩の入浴を習慣としています。これには介護の秘訣を尋ねると「よく歩きよく食べること」と教えました。そんな日浦さんは、歩くと(現在は歩行困難)以降直義は寺の興隆に力を尽しました。四世高慧の頃には支院も十近くあり、中世鎌倉教学の拠点となっていたといいます。

腰越駅西口から西大路を歩いて寿福寺、英勝寺、ちょっと戻って踏切を渡り、上杉管領跡の碑を見てすぐ右折すると、静寂で素敵な泉谷山淨光明寺である。庭内客殿奥の柏木が目にに入る。宗派は真言宗で本山が京都東山泉涌寺、六代執権北条時が開基で、時頼とともに発願し建長三年(一一五二)、眞聖国師貞阿を開山住持として創建した。建武の中興以降足利氏との関係が深まった。中先代の乱の時鎌倉を追われた弟直義救援のため東下した尊氏が、朝廷に対し恭順の意を示して蟄居したのがこの寺で、以降直義は寺の興隆に力を尽しました。四世高慧の頃には支院も十近くあり、中世鎌倉教学の拠点となっていたといいます。

腰越駅西口から西大路を歩いて寿福寺、英勝寺、ちょっと戻って踏切を渡り、上杉管領跡の碑を見てすぐ右折すると、静寂で素敵な泉谷山淨光明寺である。庭内客殿奥の柏木が目にに入る。宗派は真言宗で本山が京都東山泉涌寺、六代執権北条時が開基で、時頼とともに発願し建長三年(一一五二)、眞聖国師貞阿を開山住持として創建した。建武の中興以降足利氏との関係が深まった。中先代の乱の時鎌倉を追われた弟直義救援のため東下した尊氏が、朝廷に対し恭順の意を示して蟄居したのがこの寺で、以降直義は寺の興隆に力を尽しました。四世高慧の頃には支院も十近くあり、中世鎌倉教学の拠点となっていたといいます。



鎌倉散歩

淨光明寺は足利氏  
ゆかりの大寺だった

客殿奥の収蔵庫の宋朝様式の強い影響を受けた本尊木造阿弥陀如来並びに両脇侍こそ、覚園寺薬師三尊と東慶寺の水月觀音とともに鎌倉地方彫刻を代表する仏像で仏像愛好家なら一度は拝観したい重文仏の優作である。

また、裏山には冷泉家の祖先の冷泉爲相(藤原定家の孫阿仏尼の子で歌人)の墓があり、さらに少々険しい山道を五六分ぐだると、背たけ三・一六メートルの巨大な覺賢和尚の五輪塔(重文)(多宝寺跡地)がある。

収蔵庫は木・土・日・祭の晴天の日、五輪塔は「鎌倉まつり」の八日間の晴天の日のみ山道の柵が開かれる。

門前から東へ「泉の井」(鎌倉十井)を過ぎると、昭和四十九年文京区白山から移転した妙伝寺が多宝寺跡にある。多宝寺は忍性開山かとも書かれているが戦国時代すでに廃寺の謎の多い寺である。墓所最奥部の崖上に覺賢の墓塔があるはずで今こからは行けない。

さりに東へ二百メートル道の突き当たりから荒れた山道を歩くと(現在は歩行困難)

旧巨福呂坂切通し、青梅聖天の上に出、庚申塚、林不忘豪邸跡の「藏」がみられ、その先はすぐ八幡宮の車祓所である。(K)

## 原稿募集・投稿規定

光明寺境内の風物詩は今に面影を残し、大サーカスやいろいろな見世物小屋のことなどを、記憶にとどめる方も多く思います。何年頃と学校名も記入してください。

## 編集後記

成町18-10)まで。  
○原稿締め切り 平成19年8月20日  
○紙面割りの都合で、原稿の採用、内容の一部修正等についてはご一任願います。原稿等は返却いたしません。

◆昔の鎌倉の小学校 戰時の閱兵・分行進・ゲートル巻での登校など。恩師や友人との思い出などは避け、社会背景のある情景スケッチが望れます。何年頃と学校名も記入してください。

◆一般投稿について 短歌・俳句・川柳についてもご応募お待ちしております。  
◎送り先は鎌倉市役所高齢者福祉課 内老人クラブ連合会事務局(鎌倉市御浜ホテル)と、知つておいてほしい鎌倉の人と近代的史実を紹介しました。▼次回知らなかつた「鎌倉」を解くキーワードは、「お十夜」と「鎌倉の昔の小学校」。短文スケッチです。是非奮って投稿して下さい。(K)

## ◆表紙の写真 段葛

海に近い石造の一の鳥居から八幡宮までの一直線に伸びる参道を若宮大路と称し、京都の朱雀大路にならって造られたといわれる。二の鳥居から太鼓橋に至る中央の一段高い参道は、昔、葛石を積み重ね並べていたため置石といい、古くは海岸まで続いていた。養和2年(1182)3月、源頼朝が妻政子の安産を祈って自ら指図し、北条時政をはじめ東国の武士たちが土石を運び、参道を築いたのである。段葛は鎌倉にだけ残る形式の古道で、国の史跡に指定されている。左右の堤には桜や躑躅が植えられ、花の季節は百花繚乱で目を楽しませる。(都筑健一)

## ◆スポンサー各位へ御礼

「やまもも」発行に際しご協賛いただきました各位に厚く御礼申し上げます。本紙は会員相互の交流と生きがい向上に、さらに内容の充実に励んでまいります。今後も倍旧のご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。ゆめクラブ鎌倉

(対談者 都筑・中久喜)

## ◆スポンサー各位へ御礼

「やまもも」発行に際しご協賛いただきました各位に厚く御礼申し上げます。本紙は会員相互の交流と生きがい向上に、さらに内容の充実に励んでまいります。今後も倍旧のご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。ゆめクラブ鎌倉

## ◆スポンサー各位へ御礼

「やまもも」発行に際しご協賛いただきました各位に厚く御礼申し上げます。本紙は会員相互の交流と生きがい向上に、さらに内容の充実に励んでまいります。今後も倍旧のご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。ゆめクラブ鎌倉